

A Trial Making of Population Statistical Tables on Sport Athletes Registered in Ishikawa Prefecture

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-03 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/347

石川県登録スポーツ競技者人口統計作成の試み

佐川 哲也

A Trial Making of Population Statistical Tables on Sport Athletes Registered in Ishikawa Prefecture

Tetsuya SAGAWA

はじめに

生涯スポーツ社会の実現が極めて重要な政策課題となっている今日、生涯スポーツの現状を捉えた「生涯スポーツ統計」の作成が急務となっている。大沢は、体育・スポーツ統計の対象として、次の4項目を提示している³⁷⁾。

- ①体育・スポーツを行う主体たる人間の集団
- ②体育・スポーツを行う場所的規定としての体育・スポーツ施設空間
- ③体育・スポーツを行う時間的規定としての実施時間
- ④体育・スポーツを行うにあたって消費される財貨やサービス

しかし、学問的に近い関係にある衛生統計が人類・民族の生存に関わる重大な課題を背景として整備された統計制度になっているのに対して、体育・スポーツ統計は課題の緊急性や社会的影響性に欠けるため統計制度として整備されていないことを指摘している。

本報告は、生涯スポーツ時代の現状を把握する上で不可欠の体育・スポーツ統計のうち、手始めとして、石川県のスポーツ人口統計の作成を試みた。

1. スポーツ人口の捉え方

スポーツ人口はどのような集団の人口と捉えればよいのだろうか。大沢は体育・スポーツ人口統計について、体育人口とスポーツ人口のふたつの側面から検討している³⁷⁾。体育人口は幼

稚園、小・中・高等学校、高専、大学等によって体育活動に参加する人口であり、体育教員と児童・生徒・学生人口から構成されるとしている。しかも、この体育人口は「学校基本調査」から算出することができる。

一方、スポーツ人口は、アマチュアかプロフェッショナルか、競技者か指導者か審判か、登録か未登録か、さらにどんなスポーツを実施しているかという4重の組み合わせで分類され、これらすべてのスポーツ人口を網羅して統計を作成することは容易でないとしている。事実、わが国にはこれらすべてを網羅したスポーツ人口統計は存在しない。

競技者の登録には2つのタイプが考えられる。ひとつは競技大会に参加するための登録であり、競技者は競技会を主催する各種競技連盟(団体)に登録をする。競技連盟はそれぞれのスポーツの普及・発展を目的として設立された団体であり、競技会を開催して競技レベルの向上と競技人口の拡大に努めている。競技連盟は連盟への登録を競技会への参加資格として義務づけ、登録人口を把握することで普及・発展を図るための資料としている。しかし、当該地域におけるすべての競技者がこれに登録しているわけではなく、連盟が示す人口はその地域におけるすべての競技者数を上回らない。また、競技連盟によっては登録制度を採用していない団体もあり得る³⁸⁾。したがって、競技種目ごとの県レベルの登録競技者人口は県下の各競技連盟

を調査することで把握できる。

もうひとつの方法は、普段の活動の場であるスポーツ施設を確保するための施設管理者への登録である。わが国の場合スポーツ施設の多くが学校や地方公共団体が管理する公共施設であり²²⁾、民間が管理するスポーツ施設の数はい少ない。地方公共団体は施設利用者を登録する制度を採用しており、民間スポーツクラブ会員を除いた地域スポーツ施設を拠点として活動するスポーツ競技者人口を把握することができる。ただし、地方公共団体が把握するスポーツ競技者には、学校で課外に活動する運動部活動の加入者は含まれない。地方公共団体は地域福祉の一貫としてスポーツ施設の開放に力を入れているが、この利用者の登録制度を通じてスポーツ競技者人口を把握し、地域スポーツ行政の資料として利用している。したがって、県レベルの登録者人口は、市町村に調査をすることで把握できる。

未登録の競技者はどのように数えればよいのであろうか。こうした場合には標本調査を実施し、そこで得られた数値を母集団に乗じて推計するという方法が採られる。しかしながら、わが国ではスポーツ人口を把握することを主目的

とした調査はこれまでのところ実施されていない。横山らは、スポーツ人口に関する既存の全国的な調査を対象として、6つの評価項目から統計データの精度を評価している³⁹⁾。評価項目は次の6項目である(表1参照)。

- 1) 時間(スポーツ人口を数えるときのベースとなる期間)
- 2) 場所(スポーツ人口を数えるときの空間的範囲)
- 3) 単位(スポーツ人口を数える単位)
- 4) 標識(スポーツ人口の定義)
- 5) 調査方法
- 6) 有効標本数・率

その結果、「社会生活基本調査(指定統計114号)」がもっとも優れていると結論づけているが、標識の設定の仕方に疑問が残るとしている。横山らが取り上げた3つの統計はスポーツ人口の把握を主な目的とした統計でないものの、スポーツ人口を把握することの可能な統計ではある。しかし、いずれの統計も調査時点より過去1年間に行ったスポーツについて回答を求めたものであり、記憶力の点で精度に問題があるとしている。また、過去1年間に何らかのスポーツ活動を1回以上行った者を頻度を考慮せず一様に

表1 スポーツ人口統計の評価

統計調査	標 識	場 所	時 間	単 位	調査方法	有効回収数・率
総務庁統計局 平成3年 社会生活基本調査 (指定統計)	15才以上の者の中で過去1年間に該当するスポーツ種目の活動を行った者の数 (母集団における推計値)	全国	平成2年9月30日より 平成3年10月1日まで	千人	層化2段抽出法 訪問留置法	6,584世帯 247,264人
総理府 平成3年 体力・スポーツ に関する世論調査	20才以上の者の中で過去1年間に何らかのスポーツを行った者の調査対象者に対する割合	全国	平成3年10月から 過去1年間	%	層化2段抽出法 面接法	2310人 77.0%
(財)余暇開発センター レジャー白書'94	15才以上の者の中で過去1年間に該当するスポーツ種目の活動を行った者の数 (母集団における推計値)	全国	平成5年12月から 過去1年間	万人	層化2段抽出法 訪問留置法	3,272人 81.8%

横山ら(1992)日本体育学会第43回大会号、P.654を参考にして、佐川が最新の統計を用いて作成した。

スポーツ人口として数えることはやはり問題があるとしている。

以上のように、スポーツの特殊性とスポーツ競技者の多様化によって、正確なスポーツ人口の把握が困難となっている。そこで本報告では、石川県のスポーツ人口のうち、登録競技者人口に焦点を当て、活動場所（施設）との関連から資料を収集し、登録スポーツ競技者人口統計の作成を試みた。

II. 石川県登録スポーツ競技者人口資料

石川県の登録スポーツ競技者人口統計を作成するにあたり、次の4つの資料を収集した。

- ①石川県教育委員会が把握している登録スポーツ競技者人口資料
- ②石川県高等学校体育連盟が把握している登録スポーツ競技者人口資料
- ③石川県高等学校野球連盟が把握している登録スポーツ競技者人口資料
- ④石川県中学校体育連盟が把握している登録スポーツ競技者人口資料

1. 石川県教育委員会資料

石川県教育委員会は、同県の生涯スポーツの普及・振興の基礎資料として、毎年同県のスポーツ行政の趨勢をまとめた「石川の生涯スポーツ」を刊行している¹⁸⁻³³⁾。この「石川の生涯スポーツ」は従来より市町村社会体育担当者会議の資料として作成されていたものが、昭和50(1975)

年度より「社会体育資料」として毎年定期的に作成されるようになり、昭和54(1979)年度から「石川の社会体育」として印刷・製本されるようになった¹⁸⁾。平成4年(1992)度からは、生涯学習時代の到来に合わせてタイトルを「石川の生涯スポーツ」と改めて刊行されるようになって³¹⁾。登録スポーツ競技者人口に関わる資料は、「市町村スポーツクラブ調査」として昭和55(1980)年度版の「石川の社会体育」から掲載されている(表2参照)¹⁹⁻³³⁾。資料は県下すべての市町村教育委員会に対して、表中に示した項目の調査表が示され、指定調査期日の数値をもって県に報告する形式を採っている。集められた資料は、各表とも集計以外加工されることなく市町村からのデータがそのまま掲載されている。従って、石川県下の市町村に登録されている登録スポーツ競技者人口が静態人口として示されていることになる。市町村登録されている登録スポーツ競技者は地域を基盤とした競技者であって、学校において活動されている課外スポーツ競技者はこれに登録されていない。したがって、この教育委員会資料をそのまま石川県の登録スポーツ競技者人口統計とすることには問題が残る。なぜなら、わが国のスポーツの普及・発展の過程は学校スポーツを中心に展開されてきた経緯があり、現在もなお学校期におけるスポーツ実施率の高さを考慮すると、学校における課外スポーツ競技者人口を合わせなければ十分とはいえない。

表2 「石川の生涯スポーツ」に掲載されている登録スポーツ競技者人口の概要

調査年度	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994
調査期日	6	8.31	8.31	8.31	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	5.1	5.1	5.1	5.1
市町村スポーツクラブ調査															
市町村種目別クラブ数	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市町村種目別クラブ員数	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市町村対象別クラブ数・員数	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
種目別対象別クラブ数・員数		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
掲載スポーツ種目数	34	45	46	45	44	44	44	44	44	44	44	59	57	73	72

この教育委員会資料に示されているスポーツ種目は表2に示すとおりである。掲載種目数に注目してみると、昭和55（1980）年度には34種目でスタートし、その後概ね44種目で定着していたが、平成3（1991）年度より、それまで「レクリエーション」としてまとめられていたスポーツ種目が独立して59種目に増加している³⁰⁾。さらに、平成5（1993）年度には、「その他」の項目が削除されて、種目数はさらに増えて73種目となっている³²⁾。

2. 石川県高等学校体育連盟資料

石川県高等学校体育連盟（以下、高体連と略す）は昭和39（1964）年度より『高体連年鑑』³⁻¹⁷⁾を発行しており、この中に「県内高校体育部加入状況」という形で県下すべての高等学校における運動部への加入生徒数を掲載している。『高体連年鑑第2号（1966）』には「昭和40年度加盟校運動クラブ競技人員数」が掲載されている⁴⁾。しかし、昭和53（1978）年度および昭和54（1979）年度には「石川県高等学校総合体育大会参加校一覧」という別形式の資料が掲載されているものの⁵⁻⁶⁾、その前後には『高体連年鑑』に県下の高校体育部加入状況についての資料はない。昭和58（1983）年度になって再び「県内高校体育部加入状況」が報告されるようになり、現在に至っている⁷⁻¹⁷⁾。調査は毎年5月1日現在の加入状況が石川県高体連に報告され、事務局がとりまとめてこれを年鑑に掲載している。現在の石川県高体連の専門部は34競技と2つのその他の種目から構成されている。なお、野球については石川県高等学校野球連盟が統括しているために、高体連の専門部には含まれていない。

3. 石川県高等学校野球連盟資料

石川県高等学校野球連盟（以下、高野連と略す）は、石川県下の高校野球の普及・発展のために競技者人口を把握している。石川県高野連からは、内部資料より昭和57（1982）年度より平成6（1994）年度に至る13年間の資料を提供

表3 平成4年度登録スポーツ競技者人口

	教育委員会資料			合 計
	(調査期日)	(H6.5.1)	(H6.5.1)	
1 ソフトボール	18,968	535	1,085	20,588
2 野 球	15,409	1,619	3,124	20,152
3 バスケッボール	3,672	2,895	5,102	11,669
4 バレーボール	4,778	1,889	3,990	10,657
5 サ ッ カ ー	5,605	2,074	2,494	10,173
6 ソフトテニス	2,135	1,628	4,844	8,607
7 バドミントン	3,334	1,586	2,327	7,247
8 ゲートボール	7,177	—	—	7,177
9 陸上競技	1,460	1,554	3,312	6,326
10 卓 球	1,615	1,000	3,064	5,679
11 剣 道	2,950	840	1,641	5,431
12 グランドゴルフ	4,245	—	—	4,245
13 テ ニ ス	1,125	1,495	266	3,886
14 水 泳	2,200	334	977	3,511
15 柔 道	1,475	776	800	3,051
16 ス キ ー	2,019	239	114	2,372
17 混 合	2,327	—	—	2,327
18 弓 道	967	1,035	221	2,223
19 ゴ ル フ	2,195	—	—	2,195
20 ト ラ ン ボ リ ン	1,854	82	—	1,936
21 ハ ン ド ボ ー ル	357	621	901	1,879
22 ラグビーフットボール	940	478	8	1,426
23 ボ ウ リ ン グ	1,354	61	—	1,415
24 相 撲	1,152	83	94	1,329
25 空 手 道	851	208	—	1,059
26 走 ろ う 会	948	—	—	948
27 体 操	464	151	291	906
28 少 林 寺 拳 法	866	10	—	876
29 綱 引 き	795	—	—	795
30 イ ン デ ィ ア カ ル	795	—	—	795
31 ソフトバレーボール	709	—	—	709
32 山 岳	492	143	—	635
33 歩 こ う 会	605	—	—	605
34 銃 剣 道	486	—	—	486
35 エ ア ロ ビ ク ス	423	—	—	423
36 フ ォ ー ク ダ ン ス	348	—	—	348
37 ホ ッ ケ ー	225	53	66	344
38 フ レ ッ シ ュ テ ニ ス	257	—	—	257
39 ク レ ー 射 撃	263	—	—	263
40 漕 艇 (増 艇)	66	141	35	242
41 ジャズダンス	240	—	—	240
42 健康クラブ	238	—	—	238
43 自 転 車	188	31	—	219
44 フェンシング	155	54	—	209
45 高齢者スポーツ	200	—	—	200
46 な ぎ な た	112	68	6	186
47 ヨ ッ ト	138	42	—	180
48 サ イ ク リ ン グ	177	—	—	177
49 婦 人 ス ポ ー ツ	170	—	—	170
50 ヨ ッ ガ	159	—	—	159
51 軽 ス ポ ー ツ	158	—	—	158
52 ア ー チ ョ リ ー	78	72	—	150
53 レ ス リ ン グ	91	42	—	133
54 ウエイトリフティング	65	67	—	132
55 ベ タ ン ク	118	—	—	118
56 馬 術	93	23	—	116
57 オリエンテーリング	98	—	—	98
58 ボ ク シ ン グ	38	53	—	91
59 カ ス ー	—	89	—	89
60 ちびっ子スポーツ	80	—	—	80
61 バウンドテニス	71	—	—	71
62 ビーチボール	68	—	—	68
63 健康づくり	60	—	—	60
64 ターゲットバドゴルフ	55	—	—	55
65 ウエイトトレーニング	49	—	—	49
66 太 極 拳	47	—	—	47
67 ス ケ ー ト	43	—	2	45
68 パワーリフティング	30	—	—	30
69 ライフル射撃	14	12	—	26
70 合 気 道	23	—	—	23
71 ス ポ ー ツ カ イ ト	20	—	—	20
72 レクリエーションクラブ	20	—	—	20
73 剣 舞	18	—	—	18
—: データなし	102,020	22,083	34,764	158,867

表5 石川県下の組織スポーツ人口の変遷

	平成6 (1994)	平成5 (1993)	平成4 (1992)	平成3 (1991)	平成2 (1990)	平成元 (1989)	昭和63 (1988)	昭和62 (1987)	昭和61 (1986)	昭和60 (1985)	昭和59 (1984)	昭和58 (1983)
ソフトラボ	20,588	21,407	19,695	22,377	23,791	24,982	24,985	25,248	24,935	25,128	24,193	23,443
野球	20,152	22,465	21,817	23,580	28,098	28,672	29,643	29,977	30,014	29,608	29,589	29,964
バスケット	11,669	11,609	11,113	10,875	11,491	11,370	11,588	11,491	11,376	11,844	11,338	10,966
バレー	10,657	11,004	10,832	12,142	14,290	14,338	14,680	15,008	16,545	16,206	15,874	14,801
サッカー	10,173	8,748	7,548	7,590	8,372	8,477	8,496	8,491	7,622	6,803	5,733	5,203
フットカ	8,607	8,882	9,625	10,073	12,243	13,198	12,661	12,560	12,662	12,931	12,947	12,969
ドミカニ	7,247	7,698	8,654	8,715	9,886	10,049	9,562	9,080	9,141	8,830	8,546	7,933
ゲートン	7,177	7,451	7,875	8,225	9,709	9,632	9,096	8,949	8,674	8,792	7,441	5,406
陸上	6,326	6,677	7,234	7,445	9,313	9,652	9,808	9,665	9,233	8,942	7,860	7,004
卓球	5,679	6,065	6,397	6,577	8,068	8,613	9,100	8,968	9,319	9,648	9,632	9,589
剣道	5,431	6,264	6,487	7,319	8,324	8,828	8,815	8,839	8,860	8,787	8,487	8,170
グランド	4,245	3,044	2,603	1,962	-	-	-	-	-	-	-	-
テニス	3,886	3,953	5,359	5,609	5,752	5,539	5,659	5,690	5,261	5,074	4,953	4,750
水泳	3,511	3,331	3,399	3,668	4,576	4,887	5,375	6,301	5,921	5,539	4,673	4,530
柔道	3,051	3,342	3,266	3,275	3,815	3,859	3,998	3,956	4,003	3,947	3,683	3,627
レス	2,372	2,424	2,381	2,469	2,402	2,570	2,516	2,496	2,424	2,744	2,791	2,034
混合	2,527	2,315	3,195	2,999	3,890	4,304	4,684	5,209	4,539	3,490	3,539	3,288
弓道	2,223	2,521	2,442	2,368	2,357	2,369	2,358	2,327	2,205	2,039	-	1,692
ゴルフ	2,195	1,969	1,780	937	-	8	-	-	-	-	-	-
ハンド	1,936	1,994	2,039	2,131	2,056	1,880	1,830	1,754	1,706	1,792	1,633	1,384
ハンド	1,879	1,846	1,828	1,963	2,728	2,812	2,810	2,716	2,784	2,788	2,713	2,370
ラダー	1,426	1,338	1,380	1,403	1,279	1,193	1,161	1,082	855	921	845	800
ボウ	1,415	1,357	1,129	1,210	866	893	585	586	520	465	430	322
相空	1,329	1,653	1,427	1,537	1,682	1,740	1,828	1,765	1,744	1,602	1,166	1,315
手	1,059	1,038	1,298	1,370	1,320	1,479	1,472	1,418	1,294	1,229	1,184	1,106
走	948	1,025	1,345	1,314	1,525	1,582	1,474	2,088	2,268	2,180	2,295	2,493
体	906	1,019	953	1,018	1,314	1,392	1,422	1,459	1,424	1,392	1,359	1,329
少	866	786	856	901	42	58	-	-	-	-	-	-
綱	795	898	808	816	-	-	-	-	-	-	-	-
イ	795	760	594	510	-	-	-	-	-	-	-	-
ソフト	709	710	483	393	-	-	-	-	-	-	-	-
山	635	556	635	603	584	589	555	511	545	531	568	502
歩	605	1,050	1,096	1,133	1,256	1,236	1,088	875	710	451	688	565
杖	486	65	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
エ	423	389	305	184	-	-	-	-	-	-	-	-
フ	348	280	252	12	-	-	-	-	-	-	-	-
ホ	344	537	124	133	110	123	141	127	120	58	53	48
レ	331	198	-	46	-	-	-	-	-	-	-	-
ッ	263	257	244	212	214	197	228	237	230	228	199	194
シ	242	225	217	191	270	288	273	290	241	194	198	199
ヤ	240	202	196	109	-	-	-	-	-	-	-	-
銃	238	223	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
自	219	127	200	214	279	343	290	293	251	250	292	262
高	209	172	184	155	41	56	49	75	52	54	64	65
な	200	138	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヨ	186	189	65	178	59	68	64	35	16	5	7	-
サ	180	339	185	326	446	495	442	416	404	256	87	65
サ	177	177	193	139	200	173	179	211	214	142	223	140
人	170	141	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヨ	159	122	124	77	-	-	-	-	-	-	-	-
鞋	158	137	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ア	150	173	73	135	60	37	50	12	6	-	-	-
レ	133	135	137	143	87	74	83	68	57	72	80	69
ウ	132	102	108	111	142	112	107	137	153	142	166	111
エ	118	0	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-
馬	116	114	120	123	173	185	163	165	157	167	127	129
オ	98	134	132	120	125	125	105	105	100	320	495	80
カ	91	119	104	113	135	137	115	126	134	86	112	117
ち	89	92	104	196	84	71	-	14	-	-	-	-
び	80	58	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
バ	71	40	17	25	-	-	-	-	-	-	-	-
ウ	68	72	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ビ	60	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
健	55	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
タ	49	44	51	39	60	60	85	85	115	152	132	117
ウ	47	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
太	45	62	57	53	91	91	92	91	90	46	45	45
ス	30	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
パ	26	14	13	18	113	95	95	95	95	90	90	114
ラ	23	23	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
合	20	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ス	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
レ	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
剣	0	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
居	0	27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
タ	0	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ク	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
レ	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ビ	0	-	0	47	20	20	18	18	20	20	54	40
ーム	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
デ	0	-	-	-	1,303	1,097	1,214	1,091	1,174	1,083	760	682
レ	0	-	-	-	4,838	4,681	3,713	2,803	1,933	2,335	2,014	1,815
そ	-	-	1,866	1,202	-	-	-	-	-	-	-	-
の	158,931	162,462	162,667	168,811	189,882	194,729	194,755	195,003	192,146	189,403	181,367	171,859

IV. 石川の登録スポーツ競技者人口変動

収集された4資料の年度別データの有無を示したものが表4である。昭和57(1982)年度以前には高体連資料及び中体連資料に欠損年があるが、それ以後の昭和58(1983)年度からすべての資料が揃っている。そこで4資料の数値を競技種目ごとに集計して、石川県の過去12年間の登録スポーツ競技者人口統計を作成した(表5)。4資料はそれぞれ年度ごとに掲載種目数が変動しているので、種目によっては4資料のすべてでデータがない年度もある。昭和58(1983)年度から平成6(1994)年度までの12年間すべてのデータが揃っているのは42種目で、残りの38種目(「その他」を含む)はどの資料にも数値が掲載されていない欠損データが含まれていた。このように資料に種目名そのものが掲載されていない年度のある種目はその年度には登録がなかったものと概ね理解してよく、近年スポーツ種目が増加したことによる結果と考えてよからう。

図1は平成6(1994)年度現在で人口規模の大きい上位40種目について人口変動を示したものである。4枚の図はそれぞれ縦軸のスケールが異なっているので異なる図間で比較を行う場合には注意が必要である。図を概観してみると、人口規模の大きい上位10種目では、概ねこの5年間に人口が減少する傾向にある。特に、平成3(1991)年度には急激な減少が認められる。この原因について石川県教育委員会に問い合わせたところ、集計の仕方を改善したために生じた結果であるということが明らかとなった。「市町村スポーツクラブ調査」では、クラブ員数については、「市町村種目別クラブ員数」と「種目別対象別クラブ員数」について調査を実施しているが、平成2(1990)年度までは、両者の数値に食い違いがあってもそのまま報告をしていた。ところが平成3(1991)年度からはこれを改め、両者の数値に差異が生じた場合には、欠損データとして不明確な数値を集計から除くこととした。つまり、特定種目に登録され

ていても対象^(注4)が不明確なデータ分については数値に含めないようにしたためである。その結果数値の減少が生じた訳である。特に、金沢市のように人口規模の大きな市町村では、登録方法の不統一あるいは不備によって欠損値として取り扱わねばならなくなるケースが多く、正確な登録人口の把握が困難であるようだ。集計上の問題で人口が減少したという事実を考慮しても、ここ2~3年の数値の変化をみるとやはり減少傾向が認められる。特に、「野球」、「剣道」、「水泳」、「ハンドボール」、「走ろう会」の人口規模の縮小は著しい。表5によれば、総登録スポーツ競技者人口のピークは昭和62(1987)年度の193,375人であり、これと平成6(1994)年度の157,312人を比較すると約36,000人と約20パーセント弱の減少である。その理由としては、生徒数の減少による学校運動部加入者の減少や石川国体が終わって県民のスポーツへの関心が薄れてきたことによるものなどが考えられる。しかし、詳しい調査を待たなければ、推察の域を出ない見解である。

すべてのスポーツ種目が減少傾向にあるわけでは決してない。例えば、「サッカー」はJリーグの人気を反映してか、平成4(1992)年度から平成6(1994)年度への2年間の伸び率が実に35パーセントにも達している。また、「グランドゴルフ」、「ゴルフ」、「ボウリング」、「インディアカ」、「ソフトバレーボール」、「エアロビクス」、「フォークダンス」、「銃剣道」、「フレッシュテニス」等の種目は、歴史が浅いものの近年に急激な人口規模の拡大を示している。これは、ニュースポーツブームや健康・フィットネスブーム等の表れと考えられる。高齢者スポーツの代表といわれる「ゲートボール」は7千人を超える県下第8位人口規模を要する登録スポーツに発展しているが、平成2年のピークからみるとやや減少の傾向に転じている。

V. スポーツ人口統計作成の課題

本報告では、生涯スポーツの現状を捉えた、し

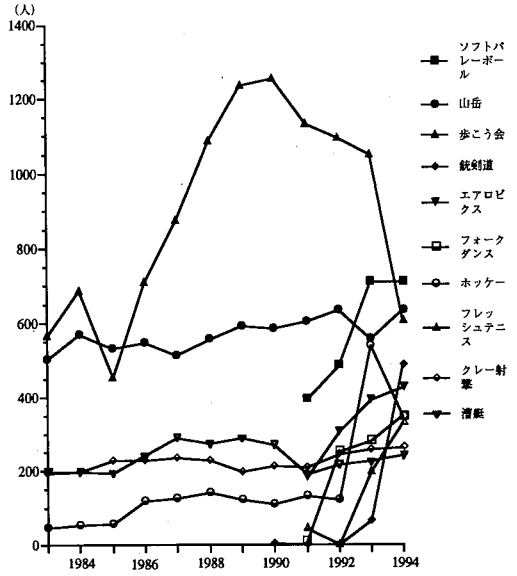
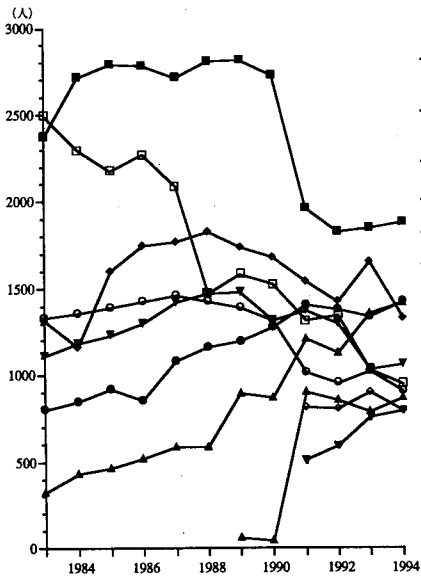
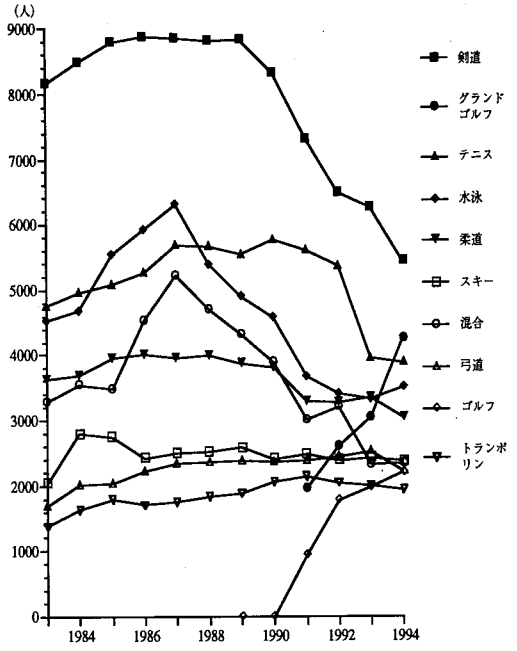
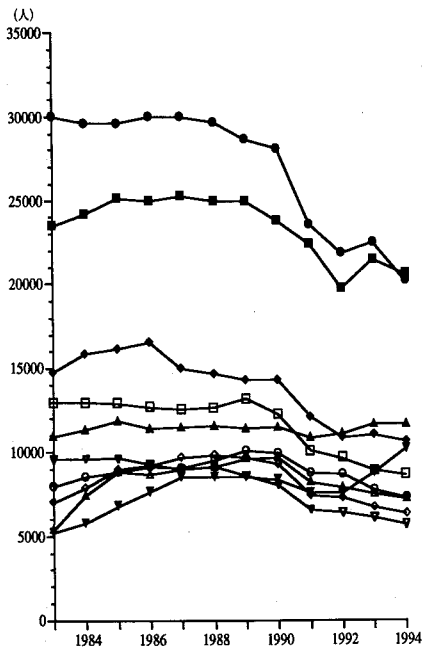


図1 組織スポーツ人口の推移

かも生涯スポーツ政策に役立つスポーツ統計の作成を目的として、石川県登録スポーツ競技者人口統計の作成を試みた。ここでは、その作成過程で明らかになったいくつかの問題点について考えてみたい。

第1は、スポーツ人口をいかに捉えるかという点である。もちろん、スポーツ人口の基本標識は、「石川県に在住してスポーツ活動を実施する人間である」と定義されるわけであるが、スポーツ活動の実施の仕方が問題となってくる。例えば、先に横山らが指摘しているように、「過去1年間に何らかのスポーツをした者」をひとりとして扱うか否かという問題は議論を呼ぶところである³⁹⁾。調査が年1回実施されるという状況の中では、年1回以上のスポーツ実施者をスポーツ人口ひとりとして数えることは可能であろうが、もしこれが毎月実施されるような調査ではもちろん数えるべきではないし、数えられない。それにしても年1回という実施頻度はあまりに緩すぎる定義ではなかろうか。そこで、スポーツ人口を数える場合にはスポーツ頻度を合わせて調査すべきではなかろうか。例えば、定期的実施しているか、それとも散発的に実施しているか程度のカテゴリーを設けるべきだと思われる。定期的なスポーツを実施している者の「定期的」とはどう捉えるべきであろうか。「年1回定期的に」というのでは問題は解決されていない。今日の生活のサイクルを考えてみると、1週間を1サイクルとして考えることがよく、「毎週スポーツを定期的実施している者」という定義が導かれてくる。しかし、諸般の事情を考慮すると、毎週という定義は少し狭すぎるようである。それならば「毎月1回以上スポーツを実施している者」を定期的と定義するのが適切かと思われる。とにかく、年1回以上のスポーツ実施者をスポーツ人口と呼ぶことに対しては問題があると思われる。

「登録」競技者はどのように捉えればよいのであろうか。「登録」と「定期的」では次元が異なるので同意味に理解することはできない。先

に示したように、登録には、大会参加型登録と施設利用型登録の2つのタイプが考えられる。施設利用型登録は組織的活動を実施しているクラブやチームが行う利用施設への登録と考えてよい。そこで、クラブやチームの発生・発展の過程を考えてみると、インフォーマル・グループとして活動が開始された時期は、活動時間、活動場所、活動人数が一定せず、活動頻度も一定でない。ところがクラブの活動の組織性が高まってくると、活動の日時、時間、場所が固定化されるようになり、団体の名称も決められ、施設に登録をして定期的な活動へと変容してくる。このような観点からみると、施設利用型登録をしている団体はかなり定期的に活動を行っている集団として捉えることが可能ではないだろうか。しかし、一つの団体が複数の施設に登録をしているということが考えられるので、資料として利用するときには二重登録がないかを吟味する必要がある。

一方、大会参加型登録を行う個人もしくは団体は、大会に参加することで普段の活動の成果を確かめることが主な目的と考えられる。その背景には、定期的な活動があると考えてもよからう。こうして2つのタイプについて考えてみると、登録競技者は、たぶん定期的に活動を行っている競技者であると考えてもよいのではなかろうか。もちろん厳密な調査を待たなければ、登録競技者の活動頻度は分からない。もうひとつ忘れてはならない点は、未登録競技者の中に多くの定期的スポーツ活動実施者が含まれているということである。例えば、登録を必要としないもっぱら自らの健康管理のために走るロードランナーや自宅でトレーニングに励む人たちは、活動頻度は高いにも関わらず未登録人口に含まれる。また、公共施設を利用しないスケートやボウリング、ゴルフなどのように不定期にしかも非組織的にお金を払ってサービスを得る商業ベースのスポーツ活動実施者も未登録競技者に含まれる。

指導者及び審判については、近年の指導者養

成制度の確立に伴って登録制度がかなり確立されているので、未登録者の数はかなり減少しているものと思われる。しかも指導者の種類が細分化されて養成団体に登録されるため、二重登録の可能性も低いと思われる。

次に、スポーツの特徴である種目の多様性を考慮することが必要である。例えば、競技型のスポーツとレクリエーション型のスポーツでは、同じ登録競技者といっても質的相違があることを認識すべきである。勝つために登録をしている者と親睦を目的として登録している者では、スポーツへの関わり方が違うため、実施頻度ばかりでなく、経験年数やスポーツ関連支出、など様々な点で異なっていると思われるので注意が必要である。また、ボウリングやゴルフなどのレジャースポーツ、登山、スキー、ウインドサーフィンといった野外スポーツも登録制度が一様でなく、種目によってかなり異なっていることを認識すべきであろう。さらに、ニュースポーツと呼ばれる新しいスポーツは無限に増大する様相であり、統計資料作成に際して、漏れなくあらゆるスポーツを盛り込むことは非常に困難になってきている。このような状況下では、西嶋らが提案しているように、スポーツ種目の分類標識として、大分類、中分類、小分類を設けることが有効かもしれない³⁵⁾。

これらをふまえて、今回作成された登録スポーツ競技者人口を検討してみると、定期的に活動している人口にかなり近い値を示しているという解釈もできるが、競技種目によって登録者の性質が異なり、どの種目も同質に定期的であるとはいえないことを認識しておくべきであろう。

次に、統計表を作成しようとする場合にふさわしい既存のデータがないとき、類似したデータを代用するか、あるいはあきらめてしまうかという問題がある。この場合解決する方法は2つ考えられる。その第一は、枠組みのしっかりした統計であるかを検討して、しっかりとした枠組みの統計であると判断される場合には、と

りあえず条件付きで代用すべきであろう。その後条件に適合する資料を探るか、代用したデータを適合するように改善を依頼することである。このときのしっかりとした枠組みとは、次のように考えるべきである。

- ①細かなしかも正確な分類で構成されていて、曖昧な分類が排除されているか。
- ②様々な要求に応えられる利用価値の高い分類で構成されているか。
- ③永く、しかも広い視野にたった分類で構成されているか。

もうひとつの解決策は、利用しようとする資料の調査の改善を求める方法である。もし、既存の資料をより構造的に改善することが可能であれば、目標とする統計の作成に役立つばかりか、より利用価値の高い意義ある資料へと改めることができるからである。

こうした点から今回の資料を検討すると、次の2点が指摘されよう。

(1) スポーツクラブ調査を登録スポーツ競技人口として代用したため、スポーツクラブの種別がスポーツ種目としては適当でないという問題に直面した。つまり、スポーツクラブには単一種目のクラブと複合種目のクラブとがあり、単一種目ではうまく適合したものが、複合種目では、特定種目に適用することができず、そのまま種別の形で採用した。今回はそのまま掲載したが、厳密に種目別として統計表を作成するのであれば、これらの種別は除かれるべきかもしれない。その意味では、今回の統計は登録スポーツクラブ種別競技者人口ということになる。

(2) 教育委員会資料において、平成3年度に集計方法の変更が行われている。この変更は、対象³⁶⁾の不明確な人口を掲載しないという方針で行われたもので、集計方法の改善という点で評価されるものである。しかし、結果として、数多くの競技者が欠損データとして扱われ、人口の大幅な減少という形となってしまった。今になっては、どれだけの人口が欠損値となった

のか、実際に減少した人口が何人だったのか不明であり、平成3年度以前と以降でどちらがより正確な人口を示しているのか判断ができず、人口の変動を解釈するときの障害となってしまう。人口規模の大きい市町村では欠損データとなる数が多くなって、正確な人口の把握が困難であるという理由は、ある程度までは許容できて、やはり、末端での調査のやり方などの見直しをする必要がある。どうしても、欠損データが多くなってしまうのであれば、調査項目自体の検討も必要かもしれない。

終わりに

石川県の登録スポーツ競技人口の資料を収集してみて、過去12間ものかなり信頼できる数値が入手できたことは大きな驚きであった。石川県の生涯スポーツ政策にとって、スポーツ人口の正確な把握は重要であり、今後とも各方面から資料を収集して生涯スポーツ統計の整備を進めていきたい。

謝 辞

石川県登録スポーツ競技者人口統計を作成するにあたり、快く資料をご提供いただいた石川県教育委員会体育科生涯スポーツ係長多々見武氏、石川県高等学校体育連盟理事長山本政一氏、石川県中学校体育連盟理事長大釜満男氏、石川県高等学校野球連盟理事長吉井典雄氏に深く感謝いたします。

注 釈

- 1) 石川県の各競技団体の登録制度の実際については調査を待たねば正確には分からない。
- 2) 文部省「社会教育調査(1987)」によれば、わが国の体育館、野球場・ソフトボール場、運動広場、陸上競技場はほとんどが公共の社会体育施設となっている。しかし、水泳プール、ゴルフ場・ゴルフ練習場、庭球場、スキー場、ボウリング場、柔道・剣道・柔剣道場、トレーニング場は、公共体育施設と民間体育施設との比率が同等もしくは民間体育施設が大きく上回っている。したがって、多目的に使用できる施設のほとん

どは公共施設が多く、特殊性の高い施設は民間施設に多くなっている。

- 3) 平成元年および2年度以外の資料はすべて内部資料によった。
- 4) 対象は、幼児、小学校、中学校、小・中・高の混成、青年男子、青年女子、成年、壮年、青・成・壮の混成、婦人、高齢者、その他の12対象にカテゴライズされていて、この対象が不明確なために欠損値として扱われるケースがある。

引用および参考文献

- 1) 石川県中学校体育連盟編(1989)：はばたくいぬわしー平成元年度石川県中学校体育大会記録一，石川県中学校体育連盟，4-7
- 2) 石川県中学校体育連盟編(1990)：はばたくいぬわしー平成2年度石川県中学校体育大会記録一，石川県中学校体育連盟，4-7
- 3) 石川県高等学校体育連盟編(1966)：高体連年鑑，1，石川県高等学校体育連盟
- 4) 石川県高等学校体育連盟編(1966)：高体連年鑑，2，石川県高等学校体育連盟，175-186
- 5) 石川県高等学校体育連盟編(1978)：高体連年鑑，6，石川県高等学校体育連盟，121-123
- 6) 石川県高等学校体育連盟編(1979)：高体連年鑑，7，石川県高等学校体育連盟，128-130
- 7) 石川県高等学校体育連盟編(1983)：高体連年鑑，9，石川県高等学校体育連盟，165-169
- 8) 石川県高等学校体育連盟編(1984)：高体連年鑑，10，石川県高等学校体育連盟，181-185
- 9) 石川県高等学校体育連盟編(1985)：高体連年鑑，11，石川県高等学校体育連盟，164-168
- 10) 石川県高等学校体育連盟編(1986)：高体連年鑑，12，石川県高等学校体育連盟，167-171
- 11) 石川県高等学校体育連盟編(1987)：高体連年鑑，13，石川県高等学校体育連盟，162-166
- 12) 石川県高等学校体育連盟編(1988)：高体連年鑑，14，石川県高等学校体育連盟，284-252
- 13) 石川県高等学校体育連盟編(1989)：高体連年鑑，15，石川県高等学校体育連盟，240-244
- 14) 石川県高等学校体育連盟編(1990)：高体連年鑑，16，石川県高等学校体育連盟，218
- 15) 石川県高等学校体育連盟編(1991)：高体連年鑑，17，石川県高等学校体育連盟，230
- 16) 石川県高等学校体育連盟編(1992)：高体連年鑑，

- 18, 石川県高等学校体育連盟, 212
- 17) 石川県高等学校体育連盟編 (1993): 高体連年鑑, 19, 石川県高等学校体育連盟, 230
- 18) 石川県教育委員会編 (1979): 石川の社会体育-昭和54年度-, 石川県教育委員会
- 19) 石川県教育委員会編 (1980): 石川の社会体育-昭和55年度-, 石川県教育委員会, 44-48
- 20) 石川県教育委員会編 (1981): 石川の社会体育-昭和56年度-, 石川県教育委員会, 44-51
- 21) 石川県教育委員会編 (1982): 石川の社会体育-昭和57年度-, 石川県教育委員会, 52-59
- 22) 石川県教育委員会編 (1983): 石川の社会体育-昭和58年度-, 石川県教育委員会, 40-47
- 23) 石川県教育委員会編 (1984): 石川の社会体育-昭和59年度-, 石川県教育委員会, 40-47
- 24) 石川県教育委員会編 (1985): 石川の社会体育-昭和60年度-, 石川県教育委員会, 38-45
- 25) 石川県教育委員会編 (1986): 石川の社会体育-昭和61年度-, 石川県教育委員会, 36-43
- 26) 石川県教育委員会編 (1987): 石川の社会体育-昭和62年度-, 石川県教育委員会, 38-45
- 27) 石川県教育委員会編 (1988): 石川の社会体育-昭和63年度-, 石川県教育委員会, 38-45
- 28) 石川県教育委員会編 (1989): 石川の社会体育-平成元年度-, 石川県教育委員会, 38-45
- 29) 石川県教育委員会編 (1990): 石川の社会体育-平成2年度-, 石川県教育委員会, 40-47
- 30) 石川県教育委員会編 (1991): 石川の社会体育-平成3年度-, 石川県教育委員会, 42-53
- 31) 石川県教育委員会編 (1992): 石川の生涯スポーツ-平成4年度-, 石川県教育委員会, 52-63
- 32) 石川県教育委員会編 (1993): 石川の生涯スポーツ-平成5年度-, 石川県教育委員会, 50-61
- 33) 石川県教育委員会編 (1994): 石川の生涯スポーツ-平成6年度-, 石川県教育委員会, 44-55
- 34) 内閣総理大臣官房広報室編 (1991): 体力・スポーツに関する世論調査, 内閣総理大臣官房広報室
- 35) 西嶋尚彦・横山文人・軽部光男・大澤清二・佐川哲也・國土将平 (1992): スポーツ統計の体系化-スポーツ統計に関する研究(第3報)-, 日本体育学会第43回大会号, 653
- 36) 総務庁統計局編 (1993): 平成3年社会生活基本調査, 総務庁統計局
- 37) 大沢清二 (1986): 社会統計学的体育統計の構成, 統計学, 51, 44-58
- 38) (財)余暇開発センター編 (1994): レジャー白書'94, (財)余暇開発センター
- 39) 横山文人・西嶋尚彦・軽部光男・大澤清二 (1992): 統計体系からみた既存のスポーツ統計の評価-スポーツ統計に関する研究(第4報)-, 日本体育学会第43回大会号, 654

表7 石川県高等学校体育連盟資料及び石川県高等学校野球連盟資料

調査日	平成6	平成5	平成4	平成3	平成2	平成元	昭和63	昭和62	昭和61	昭和60	昭和59	昭和58
	(1994)	(1993)	(1992)	(1991)	(1990)	(1989)	(1988)	(1987)	(1986)	(1985)	(1984)	(1983)
	H6.5.1	H5.5.1	H4.5.1	H3.5.1	H2.5.1	H1.5.1	S63.5.1	S62.5.1	S61.5.1	S60.5.1	S59.5.1	S58.5.1
陸上競技	1,554	1,631	1,674	1,741	1,710	1,845	1,876	1,728	1,666	1,609	1,503	1,422
卓球	1,000	998	1,157	1,175	1,162	1,247	1,397	1,406	1,376	1,508	1,574	1,692
バスケットボール	2,895	2,726	2,475	2,261	2,071	1,945	1,971	1,936	1,888	1,976	1,854	1,899
バレーボール	1,889	1,981	1,037	2,080	2,025	1,909	1,868	1,935	1,933	1,938	1,891	1,758
水泳	334	342	327	352	389	330	442	407	376	421	373	277
体操	151	174	128	132	151	168	222	210	208	174	203	216
相撲	83	112	93	82	89	108	139	103	100	102	109	117
ボクシング	53	57	64	63	52	64	41	52	43	48	60	61
ハンドボール	621	620	576	643	623	662	618	632	595	586	600	547
サッカー	2,074	1,838	1,730	1,690	1,538	1,562	1,586	1,570	1,467	1,327	1,268	1,121
ラグビーフットボール	478	550	631	682	675	627	614	582	514	547	475	438
登山	143	112	184	174	138	130	134	122	134	159	160	104
スキー	239	239	262	268	313	288	291	284	254	278	270	262
ソフトボール	535	642	582	712	754	760	663	652	674	699	637	534
バドミントン	1,586	1,754	1,770	2,010	1,754	1,894	1,882	1,848	1,933	1,876	1,784	1,482
柔道	776	940	880	791	811	810	790	780	828	906	757	805
剣道	840	911	942	1,025	1,021	1,181	1,149	1,175	1,229	1,244	1,154	1,107
弓道	1,035	1,242	1,159	1,109	1,075	1,066	1,104	1,011	903	892	875	723
ソフトテニス	1,628	1,675	1,737	1,635	1,642	1,567	1,783	1,782	1,887	2,041	2,150	1,991
テニス	1,495	1,615	1,746	1,811	1,743	1,625	1,351	1,318	1,258	1,212	1,145	1,269
漕艇	141	169	151	169	191	209	214	230	180	159	143	164
レスリング	42	40	41	32	37	44	53	38	32	32	40	29
自転車	31	32	32	41	35	41	35	51	16	13	12	14
ウエイトリフティング	67	37	48	59	71	46	41	60	71	54	31	35
フェンシング	54	52	44	39	41	43	49	60	42	44	54	56
ヨット	42	36	49	49	59	76	42	4	39	35	19	14
ホッケー	53	51	63	59	62	72	81	66	69	58	53	48
空手道	208	219	226	222	237	195	219	195	155	138	76	70
トランポリン	82	54	55	54	62	61	72	82	74	67	38	37
馬術	23	21	27	31	33	45	23	25	9	17	17	19
なぎなた	68	59	59	59	50	58	53	31	16	5	7	—
アーチェリー	72	72	73	68	60	37	50	8	6	0	0	—
カヌー	89	92	104	95	84	71	—	—	—	—	—	—
ボウリング	61	41	54	61	53	74	—	—	—	—	—	—
少林寺拳法	10	32	—	45	42	58	—	—	—	—	—	—
ライフル射撃	12	—	—	—	52	57	57	59	0	0	0	—
銃剣道	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—
スポーツ	—	—	—	—	15	—	—	—	—	—	—	—
ゴルフ	—	—	—	—	—	8	—	—	—	—	—	—
スキー	—	—	—	—	—	—	1	0	0	1	0	—
その他	—	—	—	—	—	—	150	154	285	283	0	194
合計	20,464	21,166	20,180	21,519	20,923	20,983	21,061	20,596	20,260	20,449	19,332	18,505
野球（高野連）	1,619	1,711	1,716	1,749	1,652	1,630	1,634	1,628	1,486	1,598	1,593	1,527
総計	22,083	22,877	21,896	23,268	22,575	22,613	22,695	22,224	21,746	22,047	20,925	20,032

表8 石川県中学校体育連盟資料

種目	平成6 (1994)	平成5 (1993)	平成4 (1992)	平成3 (1991)	平成2 (1990)	平成元 (1989)	昭和63 (1988)	昭和62 (1987)	昭和61 (1986)	昭和60 (1985)	昭和59 (1984)	昭和58 (1983)	昭和57 (1982)	昭和56 (1981)	昭和55 (1980)	昭和54 (1979)	昭和53 (1978)	昭和52 (1977)	昭和51 (1976)
陸上	3,312	3,538	3,845	4,165	4,630	4,969	5,097	5,192	4,923	4,618	4,100	3,482	-	3,021	2,676	2,630	2,560	2,421	2,255
軟式野球	3,124	3,401	3,420	3,839	4,060	4,176	4,321	4,276	4,337	4,130	4,080	3,942	-	4,228	4,142	3,906	3,737	3,744	3,028
ソフトテニス	4,844	5,010	5,249	5,433	5,789	6,030	5,931	5,834	5,872	5,896	5,911	5,790	-	5,436	5,201	4,783	4,834	4,599	4,639
卓球	3,064	3,274	3,410	3,509	3,645	4,036	4,282	4,287	4,590	4,915	4,911	4,698	-	4,244	4,132	3,940	4,106	3,821	3,819
バレーボール	3,990	4,160	4,366	4,323	4,572	4,597	5,116	5,186	5,541	5,318	5,203	4,956	-	4,425	4,350	4,182	4,199	4,378	4,165
バドミントン	1,085	1,125	1,067	1,152	1,234	1,306	1,355	1,378	1,387	1,274	1,249	1,210	-	1,248	1,218	1,069	1,079	943	861
バスケットボール	5,102	5,053	5,020	4,874	4,609	4,834	5,151	5,342	5,143	5,087	4,958	4,848	-	4,308	4,107	3,859	3,959	3,845	3,751
ハンドボール	901	951	968	1,045	1,173	1,179	1,320	1,222	1,323	1,350	1,252	970	-	838	767	661	688	637	629
バドミントン	2,327	2,597	2,863	3,057	3,134	3,220	3,072	2,874	2,830	2,965	2,723	2,687	-	2,329	2,253	2,073	2,115	2,100	2,126
水泳	291	388	384	436	421	505	547	634	704	696	650	646	-	579	486	524	546	686	527
相撲	977	998	1,013	1,003	1,099	1,308	1,413	1,584	1,510	1,447	1,265	1,179	-	945	911	902	966	893	899
スキー	114	145	113	69	82	124	70	196	202	196	201	114	-	119	134	142	176	167	192
柔道	800	913	956	937	957	948	1,041	1,193	1,229	1,132	1,022	936	-	731	745	704	714	776	823
剣道	1,641	1,847	2,091	2,417	2,811	2,904	3,019	2,831	2,786	2,775	2,614	2,519	-	2,021	1,801	1,588	1,576	1,716	1,698
サッカー	2,494	2,292	2,057	2,204	2,220	2,427	2,760	2,848	2,773	2,324	1,949	1,779	-	1,271	1,182	1,123	1,087	1,072	1,139
弓道	221	227	250	296	308	350	343	382	359	349	328	254	-	169	158	97	93	108	75
ホッケー	66	61	61	49	48	51	60	61	51	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
なぎなた	6	7	6	3	9	10	11	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ラグビーフットボール	8	9	0	11	13	13	11	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
テニス	266	107	135	125	161	0	110	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
空手	0	0	0	0	12	11	12	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヨット	-	-	4	16	20	24	19	20	21	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
カヌー	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
アーチェリー	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ラケットボール	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合気道	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
剣道	35	28	38	0	39	42	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
スキー	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	34,764	36,273	37,411	39,085	41,137	43,179	45,137	45,434	45,722	44,606	42,527	40,096	-	36,034	34,394	32,306	32,539	32,101	30,781